

平成23年行政事業レビューシート

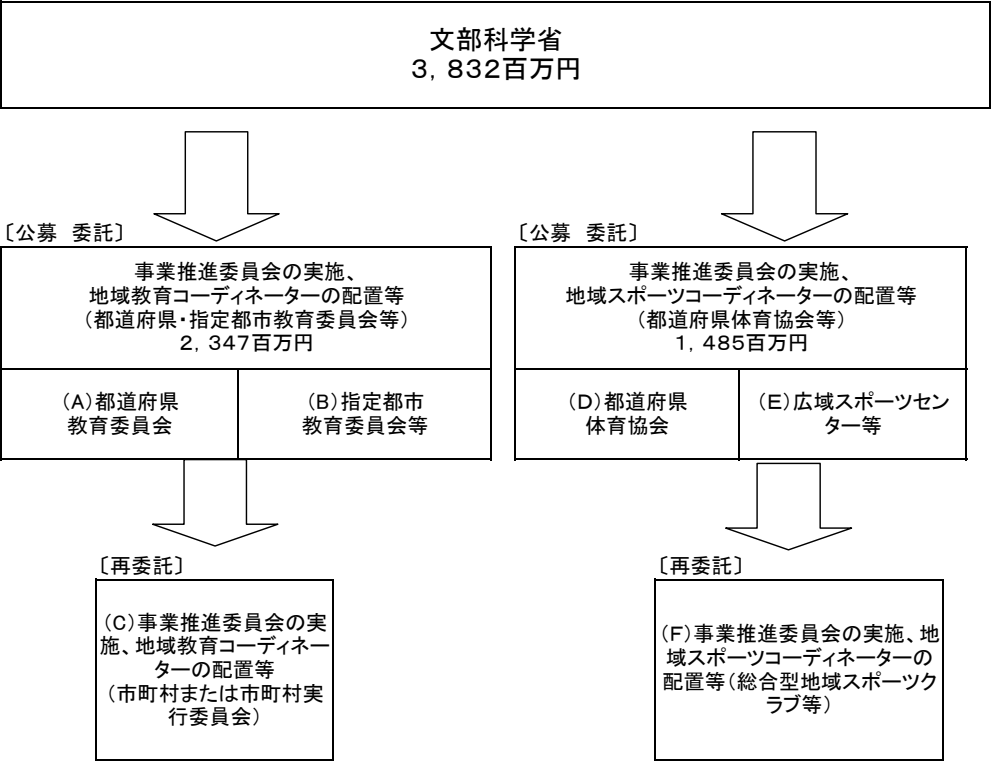
(文部科学省)

事業名	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業		担当部局庁	生涯学習政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～		担当課室	社会教育課		社会教育課長 塩見みづ枝		
会計区分	一般会計		施策名	I-3 地域の教育力の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	被災地の自律的な復興に向けて、住民一人一人が主体的に参画することのできる地域コミュニティ再生のための学びの場づくり、コミュニケーションの場づくりを推進し、学びを媒介としたコミュニケーションの活性化や地域の課題解決の取組を支援し、地域コミュニティの再生を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	被災地の市町村教育委員会に、複数名体制で活動する「地域教育コーディネーター」を配置し、学校、公民館、図書館、集会所などを拠点に、地域に必要な様々な学習の場をコーディネートし、住民に提供することを通じ、人々が日常的に集い、参加する場をつくるとともに、地域の具体的な課題解決やコミュニティの人間関係構築に資する。 例えば、外部講師や地域のボランティア等の参画を得て、地域住民に対して、公民館等を活用して地域ぐるみの防災教育や心のケアなどの課題解決のための学習の場を提供する活動や、避難所生活等により家庭学習等が困難な児童生徒に対して、学校施設等を活用して、放課後や週末等の学習・交流の場を提供する活動などを支援する。 また、同様に、被災地の総合型地域スポーツクラブに「地域スポーツコーディネーター」を配置し、地域においてスポーツの場を提供することにより、コミュニティの人間関係構築に資する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算					3,832	
		繰越し等						
		計					3,832	
		執行額						
	執行率(%)							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	成果実績				—	—	—	—
	達成度		%	—	—	—		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	地域課題解決の取組を実施する地域の数		活動実績 (当初見込み)	箇所	—	—	—	※24年度の活動見込である (1,041)
単位当たり コスト	①3,571千円(円/箇所)		算出根拠	①地域教育コーディネーターによる地域の学びの場の提供 (2,231,875千円/625箇所)				
	②3,571千円(円/箇所)			②地域スポーツコーディネーターによる地域スポーツの場の提供 (1,485,536千円/416箇所)				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	生涯学習振興事業委託費	0	3832百万円	【東日本大震災復興関連事業 要求額3,832百万円】				
	計	0	3832百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・本事業は、「東日本大震災からの復興の基本方針」において、コーディネーターを活用した地域のネットワークづくりについて言及されたことを受け、学びを通じた地域コミュニティの再生を目的として企画・立案されたものであり、その事業目的に基づいた成果として、地域における課題解決のための学びの場づくりや放課後等における子どもたちの学習支援の実施状況を設定している。 なお、事業実施にあたり、効果的・効率的な実施方法を検討した結果、地域ごとに地域教育コーディネーターを配置し、地域住民が主体的に参加できる地域の学びの場、コミュニケーションの場づくりを推進し、学びを媒介としたコミュニケーションの活性化や地域の課題解決のための取組の支援を行うことで、被災地の自律的な復興に向けた本事業の効果が最大限得られるものと想定している。 また、本事業は、放課後や週末等における児童生徒の学習支援や地域課題に係る学習会の実施など、復興に向けた被災地のニーズ・要望に応えるものとなっている。		
予算監視・効率化チームの所見			
	本事業は、事業の成果目標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く被災地のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	事業推進委員会の実施、 地域教育コーディネーターの配置等	4	委託費	事業推進委員会の実施、 地域スポーツコーディネーターの配置等	4
計		4	計		4
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	事業推進委員会の実施、 地域教育コーディネーターの配置等	4			
計		4	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	事業推進委員会の実施、 地域スポーツコーディネーターの配置	4			
計		4	計		0

費目・使途
「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）